


第三国集団研修 事前調査団 報告書

— エジプト 感染症対策 —

1996年3月

JICA LIBRARY

J1136162131

国際協力事業団
研修事業部

JICA
407
938
TAT
LIBRARY

研 三
JR
96-26

第三国集団研修 事前調査団 報告書

－エジプト 感染症対策－

1996年3月

国際協力事業団
研修事業部



1136162 (3)

序 文

第三国集団研修とは、社会的、文化的、言語において共通の基盤を持つ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の他の国から研修員を受け入れることによって、より現地の事情に適合した環境の中で知識・技術の移転を図り、当該地域の人材を育成して様々な開発ニーズに応えると共に、開発途上国間技術協力（南南協力）の推進を図ることを目的としている研修事業です。

エジプト第三国集団研修「感染症対策」コースは、アフリカ地域で大きな脅威となっているAIDS、肝炎、ATL等の血液由来感染症の診断技術を学ぶコースで、アフリカにおける血液由来感染症の撲滅を目指しています。

本報告書は、同研修実施の妥当性・可能性を総合的に評価すべく平成7年12月5日から12月16日まで当事業団が派遣した事前調査団の調査結果をとりまとめたものです。

本調査の実施に際しご協力いただいた外務省、厚生省、国立熊本病院および在エジプト日本大使館の関係者の皆様に深い謝意を表す次第です。

平成8年3月

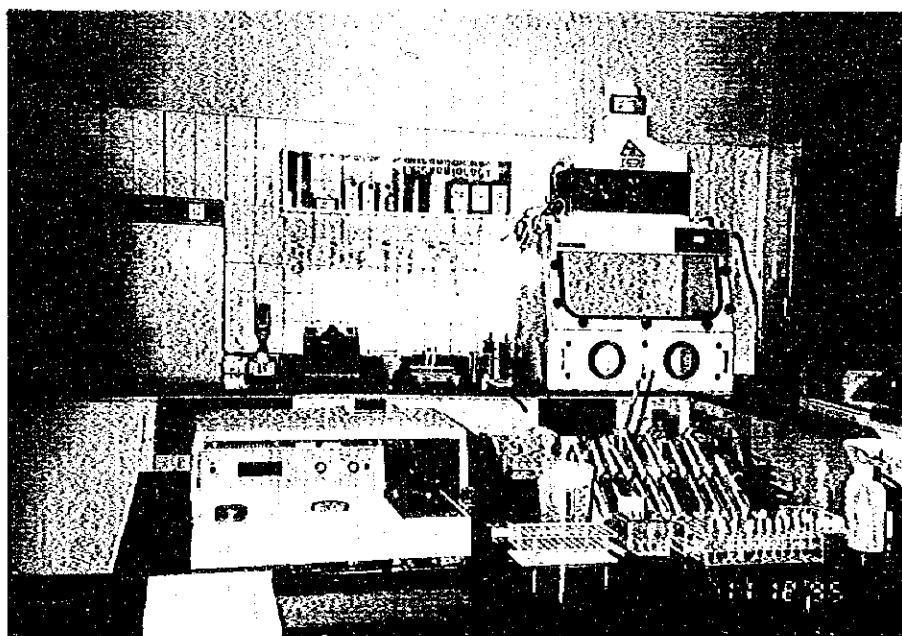
国際協力事業団 研修事業部
部長 庵原 宏義

目 次

1 事前調査団の派遣	1
1-1 派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査行程	2
1-4 主要面談者	3
2 第三国研修要請の背景	4
2-1 周辺国の研修ニーズ	4
2-2 実施国の当該分野の現状	4
3 研修計画の内容	5
3-1 コース名称	5
3-2 コース目的	5
3-3 到達目標	5
3-4 協力年限	5
3-5 実施時期及び期間	5
3-6 割当国	5
3-7 定員	6
3-8 カリキュラム	6
3-9 実施期間及び実施場所	6
3-10 応募資格	6
3-11 募集手続き	6
3-12 エジプト政府及びわが国政府の分担事項	6
3-13 経費の授受手続き	7
4 第三国研修実施体制	8
4-1 実施期間の組織及び概要	8
4-2 実施期間の関連組織及び支援体制	8
4-3 実施期間の研修指導能力及び研修運営能力	9
4-4 実施期間の施設、建物、機材等	9
4-5 第三国研修の実施予算	9
5 日本の他の技術協力との関係	10
5-1 研修員受け入れ事業	10
5-2 その他	10
6 日本側の協力	10
6-1 協力の目的と必要性	10
6-2 経費分担	10
6-3 専門家派遣	10
6-4 カウンターパート受け入れ	11
6-5 その他	11
付属資料	
① 調査協議議事録	
② スエズ運河大学医学部側のマスタープラン	



スエズ運河大学病院



ラボの血液検査用機材



ミニッツサイン風景



エジプト対アフリカ技術協力基金、スエズ運河大学医学部
在エジプト日本大使館、JICAエジプト事務所各関係者と事前調査団

1 事前調査団の派遣

1-1 派遣の経緯と目的

HIV/AIDS、肝炎等の血液由来感染症は、特にアフリカ地域において、現地の貧弱な保健体制及び不十分な医療事情もあいまって、地域住民の健康を脅かす深刻な疾患として近年特に注目を浴びてきている。わが国政府は、このようなアフリカ地域における医療事情の改善のために、「地球的規模の課題への対応」(グローバル・イシュー・イニシアティブ)のもとに、各種スキームを通して積極的に取り組んでいるところである。

エジプト国は、古代文明発祥の地であるばかりか、アフリカ大陸の東北縁に位置するため、中世、近世を通じてユーラシアとアフリカの結節点として地政学上重要な地位を占めてきた。更に、近年はイスラエルとの単独和平合意に代表されるようにパレスチナ和平のアラブサイドの牽引車としての役割を積極的に果たす等、政治大国として国際的に広く認知されているところでもある。エジプト政府は、同国のこのような政治的、地政的役割を達成する目的から、1981年に外務省の中に対アフリカ技術協力基金を創設し、アフリカ諸国に対する独自の技術協力を進める一方で、わが国政府との協調によるJICA第三国研修の招致に努めてきた。平成7年度、エジプトにおける第三国研修は六件を数えるに至っている。

以上の背景の下に、平成6年8月、エジプト政府は、エジプト東部イスマイリア市に位置するスエズ運河大学医学部を実施機関とした、アフリカ諸国を対象とする第三国研修「感染症対策」コースの実施についてわが国政府に協力を要請してきた。

わが国政府は、右要請に応じて、スエズ運河大学における第三国研修の実施可能性を調査するために、平成7年12月にJICA調査団を派遣することとした。

1-2 調査団の構成

団 長	タカハシ ヨシユキ 高橋 嘉行	JICA 研修事業部研修第三課長
感染症対策	カワノ フミオ 河野 文夫	国立熊本病院 臨床研究部長
研修計画	マツモト タカシ 松元 隆	JICA 研修事業部研修第三課担当職員

1-3 調査日程

	月 日	曜	調 査 行 程	調 査 概 要
1	12 5	火	1045 成田発(LH-711) 1455 フラッカト 着	
2	12 6	水	1250 フラッカト 発(LH-652) 1755 カロ 着	
3	12 7	木	1000 JICAエジプト事務所 1130 日本大使館 1400 1715 JICAエジプト事務所	調査日程協議 表敬訪問及び調査目的の説明 「看護教育」コース閉講式参加 「建設機械訓練」コース専門家報告
4	12 8	金	(調査準備)	
5	12 9	土	(調査準備)	
6	12 10	日	1000 対アフリカ技術協力基金 1200 外務省国際文化交流局 1500 カロ 発 1830 スズ 着	表敬訪問及び調査日程協議 対「エ」研修員受入事業の概要 感染症研究施設訪問
7	12 11	月	0800 スズ 発 0900 スズ 蓮河大学(イスラリア) 1730	医学部施設視察、副学長表敬訪問、 第三国研修に係る協議
8	12 12	火	0900 イスラリア発 1230 カロ 帰着 1400 対アフリカ技術協力基金	調査報告及び調査議事録署名
9	12 13	水	1100 日本大使館 1630 JICAエジプト事務所	調査報告及び研修員受入事業について の意見交換 研修事業全般に係る打ち合わせ
10	12 14	木	0800 カロ 発(AF-8003) 1150 カロ 着	
11	12 15	金	1925 カロ 発(JL-406)	
12	12 16	土	1515 成田着	

1-4 主要面談者

Galal Abd. El-MOEZ	エジプト外務省対アフリカ技術協力基金事務局長
Soad SHALABY	エジプト外務省対アフリカ技術協力基金
Osama T. BADR	エジプト外務省対アフリカ技術協力基金
Sobhiy NAFIA	エジプト外務省国際交流局長
Abdel Fattah WAHAB	スエズ運河大学副学長
Fathi A. MAKLADY	スエズ運河大学医学部長
Fikry Goubra ESKANDAR	スエズ運河大学医学部臨床病理学教授
Ahmed El-GOHARY	スエズ運河大学医学部臨床病理学助教授
Alaa E. Saad HAMID	スエズ運河大学医学部講師

堂道 秀明	在エジプト日本大使館公使
高岡 望	在エジプト日本大使館一等書記官
八尋 明彦	在エジプト日本大使館一等書記官
皆川 猛	在エジプト日本大使館一等書記官
鈴木 信一	JICAエジプト事務所長
尾口 忠弘	JICAエジプト事務所次長
内藤 久敏	JICAエジプト事務所次長
玉林 洋介	JICAエジプト事務所担当所員
Hala SHOUKRY	JICAエジプト事務所担当現地職員

2 第三国研修要請の背景

2-1 周辺国の研修ニーズ

アフリカ大陸の中心部を占めるサブサハラ地域は、世界の最貧国の大部分が位置する地帯であるが、過酷な自然条件及び脆弱な医療体制もあいまって各種感染症を初めとする瘡癩の地でもある。特に、近年の人口増加に加えて急激な都市集中に伴うAIDSや肝炎等現代病の蔓延が住民の健康維持上の重大な問題となっている。これらの感染症対策を推進するためには、各国保健・医療研究機関における対象感染症に関する基礎知識の習得及び診断を始めとする関連技術の向上が不可欠であり、本件研修の実施を通じて、当該分野の人材育成を行うことは極めて有意義であると考えられる。

本件分野における国際協力には、世界保健機構(WHO)や国連児童基金(UNICEF)はいうに及ばず、先進諸国も積極的に取り組んでいるが、わが国政府も1993年7月に日米包括経済協議の一環として合意されたコモンアジェンダの中で人口問題、環境問題と並んで最優先な課題として取り上げている。

2-2 実施国の当該分野の現状

エジプト国の保健・医療の現状は、ここ数年改善は見られるものの、依然として多くの課題が残されている。重要疾患としては住血吸虫症等の感染症の他に結核等の呼吸器系疾患、ハンセン病等の循環器系疾患があげられる。

医療施設の約3分の2は政府・公的機関の管轄となっているが、その6割は各県の保健省が管轄するヘルス・ユニットやヘルス・センターである。しかし、これらの公的施設の多くは深刻な財政難のため、住民に対する医療サービスの質は極めて低いレベルにとどまっている。一方、民間の病院や一部の大学付属病院では、質の高い医療サービスの提供を受けることが可能である。

しかしながら、高度な医療サービスを受けることができる富裕層と設備・機材の不備なヘルス・ユニット等を利用せざるを得ない大多数の一般庶民層との格差は極めて大きく、今後の課題となっている。

3 研修計画の内容 (第三国研修基本計画)

本件第三国研修計画は、エジプト政府より提示された要請をもとに、事前調査団が国内での検討及び調査時のエジプト側関係者との協議を通じて基本的に合意されたものを討議議事録 (ミニッツ) にまとめたものである。

3-1 コース名称

(和) 感染症対策

(英) International Course for Clinical Immunology of Infectious Diseases
& Introduction to Molecular Biology

3-2 コース目的

参加研修員の感染症分野における実験室内医学及び研究能力の向上を図る。

3-3 到達目標

- (1) 感染症の発生史及び病相生理学に関する最新知識を獲得する。
- (2) 感染症診断のための実験室運営開発に関する経験を取得する。
- (3) 診断試験及び結果分析に主眼をおいた免疫学分野の研究手法に関する能力及び標準技術の使用法を向上する。
- (4) ウィルス性感染症の診断に関連した分子生物学に係る基礎情報を身に付ける。

3-4 協力年限

本件第三国研修の協力期間を1996年度から98年度までの3年間とする。

3-5 実施時期及び期間

約4週間 (第1回目のコースは11月2日から11月30日まで)

3-6 割当国

ボツワナ、エリトリア、エチオピア、ガーナ、ケニア、マダガスカル、マラウイ、モザンビーク、ニジェール、セネガル、セーシェルズ、南アフリカ、スワジランド、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ

3-7 定員

割当国からの参加者は12名を上限とし、また、エジプト研修員3名を上限に参加させる。(全体の定員は15名を上限とする。)

ただし、初年度(1996年度)については、エジプト研修員2名を含み、全体で12名を上限とする。

3-8 カリキュラム

講義(22単位)、実習(18単位)、視察旅行(25単位)、グループ研究(16単位)、レポート発表(8単位)、研究手法に関するワークショップ(8単位)、その他

3-9 実施機関及び実施場所

スエズ運河大学医学部付属病院(イスマイリア市)
スエズ運河大学医学部付属感染症研究研修センター(スエズ市)

3-10 応募資格

- (1) 応募国政府の推薦するもの
- (2) 感染症に係る研究室内診断に携わっている研究者
- (3) 大学卒あるいは技術短大(College)卒の学歴を持つもの
- (4) 英語による読み書き及び意志伝達に堪能なもの
- (5) 3年以上の経験を有し、年齢が25歳以上かつ45歳以下のもの
- (6) 第三国研修で取り扱うテーマに関し実際に取り扱った経験を有するもの
- (7) 応募国の国籍を有するもの
- (8) 心身共に健康なもの

3-11 募集手続き

- (1) 応募国政府は、研修開始の60日前までに応募者毎に5通の要請書を外交ルートを通じてエジプト政府に提出する。
- (2) エジプト政府は、研修開始の30日前までに、各応募国政府に対して各応募者の受け入れの可否について外交ルートを通じて回答する。

3-12 エジプト政府及び日本政府の分担事項

(1) エジプト政府

- 1) 外務省対アフリカ技術協力基金(Egyptian Fund for Technical Cooperation with Africa)
 - ① 外交ルートを通じたジェネラルインフォメーションの割当国政府への送付
 - ② 要請書の受理及びスエズ運河大学医学部への送付

③ 外交ルートを通じた候補者の制定結果の応募国への通報

2) スエズ運河大学医学部

- ① コースカリキュラムの策定
- ② ジェネラルインフォメーションの策定及び印刷
- ③ 研修コースに対する講師の配置
- ④ 研修コース実施のための施設及び機材の提供
- ⑤ 候補者の選定及び選定結果の「エ」外務省並びに J I C A エジプト事務所への通報
- ⑥ 研修員リストの J I C A エジプト事務所への提出
- ⑦ 研修員宿舍の手配
- ⑧ 研修員に対する航空券の手配及び空港送迎
- ⑨ 研修コースの一部としての研修旅行の手配
- ⑩ 日本政府負担以外の研修コース実施に必要な経費の手当て
- ⑪ 研修完了者に対する終了証書の授与
- ⑫ 研修終了後 30 日以内の J I C A エジプト事務所へのコース報告書の提出
- ⑬ 研修終了後 30 日以内の J I C A エジプト事務所への経費精算書の提出
- ⑭ 上記以外のコース実施に関する諸事項の調整

3) 日本政府

- ① コース実施への助言及び一部講義のための短期専門家の派遣
- ② J I C A を通じた研修実施に係る諸経費の負担
 - a) 往復航空賃、宿泊費、日当、医療保険掛け金、その他の研修員に係る経費
 - b) 研修旅行経費、テキスト、教材、消耗品、コピー、外部講師に対する謝金、開講・閉講式の開催経費等実施機関に係る経費

3-13 経費の授受手続き

- (1) スエズ運河大学医学部は、研修実施に要する経費を日本政府から受領するために必要な銀行口座をエジプト国内に開設し、名義及び口座番号を J I C A エジプト事務所に通知する。
- (2) スエズ運河大学医学部は、コース開始 90 日前までに J I C A に対し研修実施に必要な日本政府負担となる経費について J I C A 事務所に請求書を提出する。
- (3) J I C A は、請求書の内容を精査し、請求書の受領後 45 日以内に、査定後の金額を上記 (1) にて通知された銀行口座に送金する。
- (4) スエズ運河大学医学部は、研修コース終了後の 30 日以内に経費の精算書を J I C A エジプト事務所に提出する。
- (5) スエズ運河大学医学部は、J I C A から送金された経費の中で未使用分が生じた場合には J I C A エジプト事務所の指示にしたがって J I C A に返納する。
なお、航空賃、宿泊費、日当、医療保険掛け金に割り当てられた経費はその他の目的で使用することができない。
- (6) スエズ運河大学医学部は、J I C A が求める場合には、上記 (4) に記載された経費の支出を証明する領収書その他の資料を提出する。

4 第三国研修実施体制

4-1 実施機関の組織及び概要

スエズ運河大学は、スエズ運河の運行を監督するスエズ運河庁の本庁が設置されているイスマイリア市（カイロの東方約120キロ）に位置し、1977年に設立された農学部、工学部、理学部、教育学部、薬学部等を擁する総合大学である。

同大学医学部は、課題解決型、地域重視等地域に根ざした医療をコンセプトとして1978年に設立された。同医学部の教育的、保健行政的、かつ研究的な活動は、エジプト全国24県のうち東部の5県をカバーする地域の各種保健・医療施設を対象として展開されている。同医学部は、また、世界保健機構（WHO）の保健分野の人材育成にかかる拠点センターとしての指定を受けている。

本第三国研修実施の舞台となる同医学部付属病院は、1993年12月に開院し、約350床を有し、エジプト24県のうち5県の約300万人の住民をカバーする第3次医療施設である。同病院は、域内に10箇所のプライマリー・ケア・センターと感染症研究教育センターを有し、地域住民への医療活動を第一義的なものとして標榜するユニークな病院である。同付属病院には全身用CTやアンギオ装置等を有する放射線部、B型肝炎・C型肝炎、エイズ等を日常的にチェックしている輸血部、11の手術室を持つ手術部、高度なモニター類を配備した集中治療部（ICU）等があり、診療施設としては先進国と比べても遜色のないものである。

一方、スエズ市に位置する感染症研究研修センターは、同医学部の専門センターとして1988年に設立された。本センター設立は、同医学部の目指す感染症重視の思想を反映したものである。同センターは、保健省の感染症病院（100床）やスエズ総合病院（350床）と同じ敷地内に存在し、お互いの協力により感染症の治療、研究、教育に成果をあげている。更に、近接の結核症等の治療を行う胸部疾患病院とも協力し、活動している。同センターは、また、同医学部の他の4箇所の一次医療センターと関係している。同センターには、一般外来クリニックと皮膚病学クリニックが附設され、検査室には各種検査及び基礎研究に必要な器具・機材が整備されている。

4-2 実施機関の関連組織及び支援体制

本件第三国研修の実施にあたっては、外務省対アフリカ技術協力基金が、G/Iの送付、参加者の合否についての連絡等を担当することとなるが、同基金は、既に第三国研修を6件も担当する等の経験を有していることから、円滑な実施が期待される。

一方、スエズ運河大学が、首都カイロの東方約120キロの遠隔地に位置することもあり、JICA事務所との連絡や研修員の空港送迎、カイロでの宿泊手配等の点で支障が出ることが懸念されたが、同大学の連絡事務所がカイロに存在することが確認されたことから懸念は解消された。

この他、スイスのローザンヌ大学病院、WHOの免疫学研究研修センター、オランダの王立熱帯研究所、アメリカ合衆国カンザス大学医療センター等との間で研究協力の関係を有しており、本件研修への間接的な関与が期待される。また、ジンバブエ大学から2名の研究者を、エジプト側経費（対アフリカ技術協力基金）で外部講師として招聘することも検討されている。

4-3 実施機関の研修指導能力及び研修運営能力

同研修を主催するスエズ運河大学医学部では、学部長を始め医学部をあげて本研修に取り組む姿勢を示している。同医学部には、約200名のシニアスタッフ（教授、助教授、講師等）に加えて約150名のジュニアスタッフ（助手等）がおり講師陣は充実している。また、カイロ大学、アインシャムス大学、アレキサンドリア大学等の各医学部から関連教官を外部講師として招聘する予定の他、スイスやジンバブエ等から技術的支援を得る計画を立てる等本件研修の実施に万全の態勢で臨むこととしている。

更に、本件第三国研修の実施にあたって、JICA研修員OBである臨床病理学科のゴハリー助教授をコーディネーターに、更に、本件研修のために専任の秘書を任命する等熱意を示している。ちなみに、ゴハリー助教授は平成3年度のJICA研修コースである「血液由来感染症」に参加した経験を有し、研修コースの運営に通じている一方、同学科の講師であるアラサド氏及びイサム氏の二名が熊本県の留学制度により国立熊本病院において血液由来感染症分野の研修を受講している。このようにわが国で研修を受けた彼ら三名が中核となって本件コースは円滑に実施されることが期待される。

4-4 実施機関の施設、建物、機材等

スエズ運河大学医学部付属病院はフランス政府の協力によって設計され、医療機材・施設が調達され、その種類、レベルはヨーロッパのものにひけを取らない程充実したものとなっている。そのため、一部検査試薬を除いては全て揃っており研修実施に支障は生じないと考えられる。なお、本件調査時の協議に基づき、研修に使用される検査・診断試薬については消耗品として日本政府の経費により購入することとした。

4-5 第三国研修の実施予算

本件第三国研修実施のための日本側負担の経費は、初年度となる1996年のコースは総額で228,560エジプトポンドとすることで合意した。ただし、これはエジプト研修員2名を含む参加者総数を12名として試算されたものであり、第2回目以降のコースでは人数の増加に応じた金額の増加がある。

5 日本の他の技術協力との関係

5-1 研修員受け入れ事業

1992年度、JICA研修コース「血液由来感染症」に本件第三国研修の「エ」側コーディネーターである同大学医学部ゴハリー助教授が参加している。

5-2 その他

熊本県の外国人留学制度を利用して同大学関係者2名が、熊本大学医学部及び国立熊本病院において感染症対策を中心とした研修を受講している。

6 日本側の協力

6-1 協力の目的と必要性

第三国研修の主旨は、わが国が過去に開発途上国に移転した技術を、当該途上国を通じて社会的、文化的、言語的に類似の周辺国に移転・普及させることにある。一般的に第三国研修の実施機関は、かつてあるいは現行わが国のプロジェクト技術協力等の比較的規模の大きな援助が行われたものを対象とすることが多いが、本件のように過去のわが国との技術協力の関わりが、本邦集団コースへの研修員の参加1名のみというケースは余り例を見ない。しかしながら、特にアフリカ地域においては過去のプロジェクト技術協力等の実績は極めて限定される一方、第三国研修の有用性（共通な社会・文化背景や現地適応技術等の観点から）が、広く認知されてきている現状からすれば、本件のように過去の技術協力実績が比較的少ない機関を対象とした第三国研修の実施も今後増加するものと考えられる。そのような意味で本件はその試金石として注目される。

6-2 経費分担

今回の調査では、コース実施に係る総経費を明らかにすることはできなかったが、日本側の負担分をおおむね以下のとおりとすることで合意された。なお、この経費は、第1回目となる1996年度コースのためのものであるが、参加者が増員される第2回目以降は、経費の応分の増額が見込まれる。

受入諸費	119,150エジプトポンド
研修諸費	109,410エジプトポンド
合計	228,560エジプトポンド

6-3 専門家派遣

本件研修実施にあたって、コース運営上のアドバイス及び講義の一部を担当するわが国専門家を短期間派遣することが合意された。専門家のリクルート先としては、今回事前調査に協力いただいた国立熊本病院及び熊本大学医学部が想定される。

6-4 カウンターパート受け入れ

本件研修に係る実施機関（スエズ運河大学医学部）カウンターパートの本邦研修については、今後必要に応じて手当てすることとする。また、同大学医学部長については、同分野におけるわが国の技術動向及び研究状況を視察すると共に、わが国技術協力の全体を把握・理解し、もって本件第三国研修の円滑な実施に資する目的のもとに平成7年度の個別一般研修の枠で招聘することとした。

6-5 その他

エジプト国において実施されている各分野の第三国研修においては、研修実施後のコース評価及び実施報告が必ずしも適切に行われていない状況を踏まえ、本件調査においては、協議議事録の付属資料として評価・実施報告書の様式を添付し、研修実施機関の注意を喚起することとした。

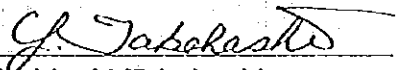
付属資料

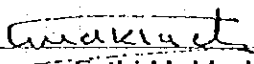
- 1 調査ミニッツ
- 2 スエズ大学医学部側のマスタープラン

MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM
AND
FACULTY OF MEDICINE, SUEZ CANAL UNIVERSITY
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAM

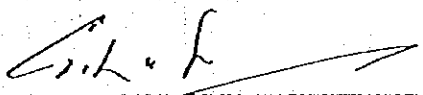
The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshiyuki Takahashi, visited Arab Republic of Egypt from December 6th, 1995 to December 14th, 1995 in order to discuss with Faculty of Medicine, Suez Canal University (hereinafter referred to as "FOM/SCU") on a training course for African participants in the field of clinical immunology of infectious diseases, to be implemented in Egypt under JICA's Third Country Training Program. The Team has conducted surveys, held a series of meetings and exchanged opinions with FOM/SCU regarding the course. Both sides came to a recognition that the course would contribute to the development of clinical immunology research in participating countries of Africa, noted the significance which this Japanese – Egyptian collaborating project would hold in the context of the regional cooperation in the field of clinical immunology, drafted the Memorandum of Understanding attached as APPENDIX I, and agreed to recommend to their respective Governments that further studies should be made in order to ensure the successful implementation of the course. A list of attendants at the meeting is attached as APPENDIX II.

Cairo, December 12th, 1995


Yoshiyuki Takahashi
Head of the Japanese
Preliminary Survey Team,
Japan International
Cooperation Agency (JICA)


Professor Fathi Maklady
Dean, Faculty of Medicine
Suez Canal University

Witnessed by


Ambassador Galal Abdel Moez
Secretary General,
Egyptian Fund for Technical
Cooperation with Africa
Ministry of Foreign Affairs,
Arab Republic of Egypt

(DRAFT)

APPENDIX I

MEMORANDUM OF UNDERSTANDING
BETWEEN
THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF THE JICA EGYPT OFFICE
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAM

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshiyuki Takahashi, visited Arab Republic of Egypt from December 6th, 1995 to December 14th, 1995 and had a series of discussions with Faculty of Medicine, Suez Canal University (hereinafter referred to as "FOM/SCU") with respect to the framework of a training course in the field of clinical immunology under JICA's Third Country Training Program, and to the desirable measures to be taken by both Governments to ensure the successful implementation of the course.

Based on the Minutes of Meeting signed between the head of the Japanese Preliminary Survey Team and the Secretary General of the Egyptian Fund for Technical Cooperation with Africa and Professor Fathi Maklady, Dean of Faculty of Medicine Suez Canal University on December 12th, 1995, the Three parties have agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Cairo, , 1996

Shinichi Suzuki
Resident Representative
JICA Egypt Office
Japan International
Cooperation Agency (JICA)

Ambassador Galal Abdel Moez
Secretary General,
Egyptian Fund for Technical
Cooperation with Africa
Ministry of Foreign Affairs,
Arab Republic of Egypt

Witnessed by

Professor Fathi Maklady
Dean, Faculty of Medicine
Suez Canal University



ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of Arab Republic of Egypt will cooperate with each other in organizing a training course in laboratory medicine in the field of clinical immunology (hereinafter referred to as "the Course") under JICA's Third Country Training Program.

The Government of Arab Republic of Egypt will conduct the Course with the support of the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once a year, from Japanese fiscal year (JFY) 1996 to JFY 1998, subject to annual consultations between both Governments.

The Course will be conducted in accordance with the followings;

1. TITLE

The Course will be entitled "International Training Course for Clinical Immunology of Infectious Diseases and an Introduction to Molecular Biology".

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide the participants with an opportunity to improve their technical skills in laboratory medicine and research capabilities in the field of infectious diseases.

3. OBJECTIVES

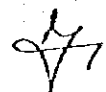
At the end of the Course, the participants are expected to have acquired;

3-1 recent information on natural history and pathophysiology of infectious diseases

3-2 hands-on experience in running and development of medical laboratory for diagnosis of infectious diseases

3-3 basic knowledge and the usage of standard techniques in evaluating diagnostic tests and decision analysis

3-4 basic information on molecular biology relevant to the technical aspects of



diagnosis of viral and infectious diseases

4. DURATION

The duration of the course will be approximately 4 weeks (1 month) and the Course for JFY 1996 (hereinafter referred to as "the first Course") will be held from November 2nd, 1996 to November 27th, 1996.

5. CURRICULUM

Tentative curriculum of the first Course is attached as ANNEX I.

6. INVITED COUNTRIES

The governments of the following countries will be invited to apply by nominating applicant(s) for the course:

Botswana, Eritrea, Ethiopia, Ghana, Kenya, Madagascar, Malawi, Mozambique, Niger, Senegal, Seychelles, South Africa, Swaziland, Tanzania, Uganda, Zambia and Zimbabwe

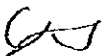
7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited countries shall not exceed twelve (12) in total. And the number of participants from Egypt shall not exceed three (3). However, for the first course, the number of participants will be twelve (12) in total including two (2) from Egypt.

8. QUALIFICATIONS OF APPLICANTS

Applicants for the Course are;

- 8-1 to be nominated by their respective governments in accordance with the procedure stipulated in 10-1 below,
- 8-2 to be presently engaged in laboratory diagnosis of infectious diseases,
- 8-3 to be a college/university graduate,
- 8-4 to have a good command of spoken and written English,
- 8-5 to be twenty five (25) years of age or more with at least three-year practical experience and to be forty five (45) years of age or less,
- 8-6 to have a practical experience on one or more of the relevant subjects of the course,
- 8-7 to have the nationality of the nominating country,





8-8 to be good in health, both physically and mentally, in order to complete the Course.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The Course will be given at the Faculty of Medicine (FOM) and The Communicable Diseases Research and Training Center (CDRTC) of Suez Canal University (SCU) in Ismailia and Suez, Egypt.

10. APPLICATION PROCEDURE

10-1 A Government applying for the Course on behalf of its nominee(s) shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of Arab Republic of Egypt through diplomatic channels not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.

10-2 The Government of Arab Republic of Egypt will inform the applying Governments through diplomatic channels whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than thirty (30) days before the commencement of the Course.

11. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF ARAB REPUBLIC OF EGYPT AND THE GOVERNMENT OF JAPAN

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country. The schedule of the first Course implementation is attached as ANNEX II.

11-1 The Government of Arab Republic of Egypt

11-1-1 The Egyptian Fund for Technical Cooperation with Africa (EFTCA), Ministry of Foreign Affairs, Egypt

- (1) To forward the General Information brochures (G.I.) to the Governments of invited countries through its diplomatic channels
- (2) To receive application forms and forward them to Faculty of Medicine, Suez Canal University (FOM/SCU)
- (3) To notify the results of the selection of participants to the respective Governments through its diplomatic channels



11-1-2 Faculty of Medicine, Suez Canal University (FOM/SCU)

- (1) To formulate the curriculum based on ANNEX I
- (2) To draft and print the G.I.
- (3) To assign an adequate number of staff as lecturers/instructors for the Course
- (4) To provide its training facilities and equipment for the Course
- (5) To select participants for the Course and notify The Egyptian Fund for Technical Cooperation with Africa (EFTCA) and the JICA Egypt Office (hereinafter referred to as "the JICA Office") of the results
- (6) To arrange accommodations for participants
- (7) To arrange international air tickets for the participants from invited countries and to meet and see them off at the airport
- (8) To arrange domestic study tours as a part of the Course
- (9) To take budgetary measures to cover the cost of conducting the Course, excluding the expenses to be financed by the Government of Japan
- (10) To issue certificates to the participants who have successfully completed the Course
- (11) To submit a course report to the JICA Office within thirty (30) days after the termination of the Course (A form of Course Report is attached as ANNEX III)
- (12) To submit a statement of expenditure for the verification thereof within thirty (30) days after the termination of the Course
- (13) To coordinate any matters related to the Course

11-2 The Government of Japan

- (1) To dispatch Japanese short-term expert(s), in accordance with the normal procedures of its technical cooperation scheme, who will give advice to FOM/SCU and deliver some of the lectures. This dispatch of expert(s) is carried out by the submission of a request form from the Government of Egypt annually.
- (2) To bear the following expenses through JICA (A tentative estimate of expenses for the first Course is attached as ANNEX IV)
 - a) Expenses relevant to participants from invited countries such as international economy-class flight fare, accommodation, per-diem, medical insurance

CS

M.

[Signature]

premiums and etc.

- b) Expenses relevant to FOM/SCU, such as study tours, texts, teaching aids, expendable supplies, copies, honoraria for external lecturers and opening and closing ceremonies and etc.

12. PROCEDURE FOR REMITTANCE AND EXPENDITURE

Remittance of funds for expenses to be borne by the Government of Japan and the expenditure thereof will be arranged in accordance with the following procedures;

12-1 FOM/SCU will open a bank account in Egypt to receive the funds remitted by JICA, and inform the JICA Office of the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.

12-2 FOM/SCU will submit to the JICA Office a bill of estimate for the expenses to be borne by the Government of Japan not later than ninety (90) days before the commencement of the Course.

12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above within forty five (45) days after the receipt of the bill of estimate.

12-4 FOM/SCU will submit to the JICA Office a statement of expenditure within thirty (30) days after the termination of the Course.

12-5 In case there is any unspent remainder of the amount remitted by JICA, FOM/SCU will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the advice given by JICA Office. The funds allocated for the flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums for the participants shall not be appropriated for any other purposes.

12-6 When requested by JICA, FOM/SCU will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidences necessary to verify the expenditure stated in 12-4 above.

13. OTHERS

This attached document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be part of the Memorandum of Understanding:



Annex I :Tentative Curriculum of the Course (for JFY 1996)

Annex II :Schedule of Course Implementation (for JFY 1996)

Annex III :A Form of Course Report

Annex IV :Tentative Estimate of Expenses to be borne by the Government of Japan
(for JFY 1996)

GS

M

GS

TENTATIVE CURRICULUM OF THE COURSE FOR JAPANESE FY 1996

The course will be conducted in the form of Lectures (L), Practices (P), Field-Trips (F), Group studies (G), and Workshops (W).

A tentative curriculum scheme include:

1. LECTURES (22L)

1) Fundamental Immunology (4L)

Adaptive and Innate Immunology

Cells involved in the immune response

Cell mediated immunity

Humoral Immunity

Complement

Antigen Recognition

Cell interaction in the immune system

Regulation of the immune system

MHC and Genetic control of immune system

Tumor markers

2) Immunity to Viruses and Bacteria (1L)

3) Immunological Techniques (4L)

Precipitation Reaction

Hemagglutination and complement fixation

Immunofluorescence

Radioimmunoassay and Enzyme-Linked Immunosorbent Assay

Immunoblotting

Assays of complement and immune complexes

Isolation of lymphocyte populations

Isolation of pure antibody

Effector cell assays

4) Hepatitis B and Hepatitis C (2L)

Virology

Pathology of viral hepatitis

Clinical features of HB and C

Diagnosis of HB

Diagnosis of HC

Epidemiology of HB and HC

HCV Genotypes

HCV and autoantibodies

Vaccine and viral hepatitis

TTT of hepatitis B and C

Liver cirrhosis and Hepatoma, their diagnosis

5) AIDS and ALT (3L)

Virology of HIV and HILV-1

Epidemiology and control of AIDS
Clinical features and diagnosis of AIDS
Epidemiology of ATL
Clinical features and diagnosis of ATL
TTT of ATL
HTLV-1 related diseases

- 6) Introduction to Molecular Biology (3L)
- 7) Introduction to Medical Statistics (1L)
- 8) Quality Control Programs in Medical Laboratory (3L)
- 9) Economics of Making a Diagnosis (1L)

2. PRACTICES (18P)

- 1) Immunological Techniques (8P)
- 2) Laboratory Diagnosis of HCV (2P)
- 3) Laboratory Diagnosis of HBV (2P)
- 4) Laboratory Diagnosis of AIDS and ATL (2P)
- 5) PCR-RNA, HBV-DNA (2P)
- 6) Immuno-staining (2P)

3. FIELD-TRIPS (25F)

These field studies aim to acquaint participants with the organizational structure of different types of diagnostic and research laboratories and help them identify the administrative problems associated with each of the laboratory structure and function. Visits will be guided by experts in the field of management of health and research organizations and will be ended with a one day workshop addressing the managerial aspects of running a laboratory.

- 1) The Communicable Diseases Research and Training Center (CDRTC), Suez, FOM/SCU
- 2) Clinical Epidemiology Unit, Ismailia, FOM/SCU
- 3) Ain Shams Specialized Hospital, Cairo
- 4) Cairo University Pediatric Hospital
- 5) National Chemo-Sero Vaccination Institute, Cairo
- 6) Egyptian Red Crescent, Cairo
- 7) Primary health centers of FOM/SCU, Suez Canal area
- 8) Alexandria Research Institute, Alexandria

4. GROUP STUDY (16G)

- 1) Journal Club (6 articles in molecular biology and immunology of infectious diseases)
- 2) Problem Solving and Group Study (10G)

Ten written problems will be delivered to participants (each in a separate session) for brain storming. Subsequently, small group discussions will be held to highlight the topics addressed each problem. The problems will be formulated so as to consolidate knowledge obtained through lectures.

5. PRESENTATION OF REPORT (8R)

Each participant(s) from the invited countries will present a comprehensive report on the activities he/she is currently taking at home emphasizing the means through which the course may help in improving conditions of his/her activities. Each participant(s) will also present a country report about the situation in the field of infectious diseases in their respective countries.

6. WORKSHOP ON RESEARCH METHODOLOGY (8W)

This intensive 4-full day workshop will help participants grasp essentials for the development of a research protocol. The following topics will be emphasized in the workshop: Research design, Sources of bias in medical research, Measurements and types of error, Inter-observer and Intra-observer disagreement, Data management, How to use a simple computer package for statistical analysis of data.

7. RECREATIONAL ACTIVITIES AND TOURISM

Through the duration of the course arrangements will be made for schedule recreational activities and for visits to Pyramids and Sphinx, the Egyptian Museum, The Great Mosques in Cairo, and Port Said and so on.



SCHEDULE OF COURSE IMPLEMENTATION FOR JAPANESE FY 1996

MONTH	EGYPTIAN SIDE	JAPANESE SIDE
January 1996	Signing of Memorandum of Understanding	Signing of Memorandum of Understanding
April 1996	Preparation of G.I.	
May 1996	Submission of Form A-1	Recruitment of Expert(s)
July 1996	1. Distribution of G.I. and Application forms 2. Opening of Bank Account 3. Submission of Bill of Estimate	
August 1996	1. Receipt of Application Forms 2. Selection of Participants and Notification of the result	
September 1996		1. Remittance of Expenses 2. Submission of Form B-1
November 1996	Implementation of the Course	Dispatch of Expert(s)
December 1996	1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report	

M

course report on
the third country training program in
international training course for clinical
immunology of infectious diseases and
an introduction to molecular biology

SS

M

9/7

ANNEX IV

TENTATIVE ESTIMATED EXPENSES FOR JFY 1996
INTERNATIONAL TRAINING COURSE FOR
CLINICAL IMMUNOLOGY OF INFECTIOUS DISEASES AND
AN INTRODUCTION TO MOLECULAR BIOLOGY

ITEM I		
INVITATION EXPENSES		
1. International Flight Fare	LE. 5,500 x 10 pax.	55,000
2. Transportation Charge	LE. 200 x 10 pax. x 2 times	4,000
3. Per-diem	LE. 50 x 10 pax. x 27 days	13,500
4. Accommodation	LE. 150 x 10 pax. x 26 nights	39,000
5. Shipping Allowance	LE. 45 x 10 pax. x 10 kg	4,500
6. Medical Insurance	LE. 315 x 10 pax.	3,150
SUBTOTAL		119,150
ITEM II		
TRAINING EXPENSES		
1. External Lecturer		2,150
(1) Honoraria	LE. 90 x 2 hours x 5 pax	900
(2) Transportation Allowance	LE. 200 x 1 day x 5 pax	1,000
(3) Per-diem	LE. 50 x 1 day x 5 pax	250
2. Employment Fee		4,500
(1) Secretary	LE. 500 x (1 month + 0.8 month) x 5 pax.	4,500
3. Study Tour		17,490
(1) Bus Rent (Short Trip)	LE. 350 x 23 days	8,050
(2) Bus Rent (Long Trip)	LE. 600 x 4 days	2,400
(3) Per-diem (Instructors & Egyp. part.)	LE. 50 x 4 pax. x 9 days	1,800
(4) Accom. (Instructor & Egyp. part.)	LE. 150 x 4 pax. x 5 nights	3,000
(5) Inspection Fee	LE. 40 x (10 pax. + 4 pax) x 4 times	2,240
4. Teaching Materials		67,120
(1) Stationery	LE. 80 x 12 pax.	960
(2) Training Materials	LE. 180 x 12 pax.	2,160
(3) Kits for participants		64,000
5. Meeting Expenses & Ceremony		7,200
(1) Opening Ceremony	LE. 60 x (10 + 50) pax.	3,600
(2) Closing Ceremony	LE. 60 x (10 + 60) pax.	3,600
6. Printing Materials		1,550
(1) G.I. Printing	LE. 25 x 50 copies	1,250
(2) Certificate	LE. 25 x 12 copies	300
7. Text Books		8,400
(1) Printing	LE. 20 x 10 types x 12 pax.	2,400
(2) Purchase	LE. 50 x 10 types x 12 pax.	6,000
8. Communication Fee		1,000
	LE. 10 x 10 min. x 10 times	1,000
SUBTOTAL		109,410
GRAND TOTAL		228,560

THE LIST OF ATTENDANTS

1. Egyptian Fund for Technical Cooperation with Africa

Ambassador Galal Abdel Moez, Secretary General

Minister Plenipotentiary Soad Shalaby, Assistant Secretary General

Mr. Ismail Ghoniem, Counsellor

2. Faculty of Medicine, Suez Canal University

Dr. Fathi A. Maklady, Dean

Dr. Atef El-Akhras, Vice Dean

Dr. Ahmed El-Ayat, Head of the University Hospital Laboratories

Dr. Ahmed El-Gohary, Assistant Professor

Dr. Alaa Eldin Saad, Lecturer

3. Japanese Preliminary Survey Team

Mr. Yoshiyuki Takahashi, Director of Third Training Division, Training Affairs Department, Japan International Cooperation Agency

Dr. Fumio Kawano, Director of Institute for Clinical Research, Kumamoto National Hospital

Mr. Takashi Matsumoto, Staff of Third Training Division, Training Affairs Department, Japan International Cooperation Agency

4. JICA Egypt Office

Mr. Shinichi Suzuki, Resident Representative

Mr. Yosuke Tamabayashi, Assistant Resident Representative

Ms. Hala Shoukry, Executive Secretary

▪ INTERNATIONAL COURSE FOR CLINICAL IMMUNOLOGY OF INFECTIOUS
DISEASES & INTRODUCTION TO MOLEKULAR BIOLOGY. ▪

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY-FACULTY OF MEDICINE, SUEZ CANAL UNIVERSITY.
December, 1994.

Submitted to JICA
by
Dr. Ahmed El-Gohary, M.D.
Ass. Prof. of Clinical Pathology
Faculty of Medicine
Suez Canal University
Ismailia Egypt.

PREFACE :

The role of infectious disease in treating the human life has been re-expanded. The emergence of new infectious disease, AIDS, ALT, and Hepatitis C virus ; received a special world wide attention, because of their current and potential hazards to the health of the World population. The role of laboratory diagnosis and monitoring of such diseases is of utmost importance for prevention.

Most of the African countries are in a situation where infectious diseases represent the major health menace. The challenges posed by this problem entail fund raising for appropriate diagnosis and control of such infections and to have the technical expertise to carry out this job.

The Government of Japan and the Government of the Arab Republic of Egypt represented by the Egyptian Technical Cooperation Fund For Africa (ETCFPA), Ministry of Foreign Affairs-Egypt, will cooperate with each other in organizing a training course in the field of immunology of infectious diseases at the Faculty of Medicine, Suez Canal University (FOM/SCU), Ismailia, under the Third-Country Training Program (TCTP) of JICA. Participants of this course will primarily include the African researchers who are involved in training or supervision of staff working in the field of immuno-diagnosis. The Faculty of Medicine, Suez Canal University will conduct the course with support of the technical & financial cooperation of the Government of Japan. The course will be held once every year. Subject to annual consultation between the Japanese and the Egyptian Governments and Faculty of Medicine, Suez Canal University. The Course will be arranged in accordance with the following:

SPONSORING BODIES :

- 1- The Japan International Cooperation Agency (JICA), JAPAN.
- 2- The Egyptian Technical Cooperation Fund For Africa (ETCFPA), Ministry of Foreign Affairs, EGYPT.
- 3- The Faculty of Medicine, Suez Canal University, Ismailia, EGYPT.

1) TITLE:

" INTERNATIONAL TRAINING COURSE FOR CLINICAL IMMUNOLOGY OF INFECTIOUS DISEASES & INTRODUCTION TO MOLECULAR BIOLOGY. "

2) PURPOSE:

The course is designed to provide opportunities for participants to enhance their current technical skills in laboratory medicine and research capabilities in the field of infectious diseases. The course will help maximizing contribution of participants to their countries health development, especially in the field of protection against infectious diseases. This will be achieved through:

- 1) Acquisition of recent information on natural history and pathophysiology of infectious diseases.
- 2) Hands-on experience in running and development of medical laboratory for diagnosis of infectious diseases.
- 3) Fostering the participants' ability to prepare sound research protocols in the field of immunology & infectious diseases, with particular emphasis on evaluation of diagnostic tests and decision analysis.
- 4) Materializing the participants' basic information on molecular biology, relevant to the technical aspects of diagnosis of viral and infectious diseases.

4) DURATION:

The annual course will be delivered over a 4-week period, and the course for the Japanese Fiscal Year (JFY) 1995, will be held from November 2 to November 30, 1995.

5) CURRICULUM AND THE WORKSHOP AGENDA :

The course will be conducted in the form of Lectures(L), Practices (P), Field-trips (F), Group studies (G), and Work Shops (W).

A tentative curriculum scheme include:

I. Lectures: ((25 L total))

- 1) Fundamental Immunology (4 L)
 - * Adaptive & Innate Immunology
 - * Cells involved in the immune response
 - * Cell mediated immunity
 - * Humoral immunity
 - * Complement
 - * Antigen recognition
 - * Cell interaction in the immune system
 - * Regulation of the immune system
 - * MHC and Genetic control of immune system
 - * Tumor markers
- 2) Immunity to Viruses & Bacteria (1 L)
- 3) Immunological Techniques (4 L)
 - * Precipitation reaction
 - * Hemagglutination & complement fixation
 - * Immunofluorescence
 - * Radioimmunoassay and Enzyme-Linked Immunosorbent Assay
 - * Immunoblotting
 - * Assays of complement and immune complexes
 - * Isolation of lymphocyte populations
 - * Isolation of pure antibody
 - * Effector cell assays
- 4) Hepatitis B and hepatitis C: (2 L)

- * Virology of hepatitis
 - * Pathology of viral hepatitis
 - * Clinical features of HB and C
 - * Diagnosis of HB
 - * Diagnosis of HC
 - * Epidemiology of HB & C
 - * HCV Genotypes
 - * HCV and autoantibodies
 - * Vaccine and viral hepatitis
 - * TTT of hepatitis B & C
 - * Liver cirrhosis & Hepatoma, their diagnosis.
- 5) AIDS & ATL (3 L)
- * Virology of HIV & HTLV-I
 - * Epidemiology and control of Aids
 - * Clinical features & diagnosis of Aids
 - * Epidemiology of ATL
 - * Clinical features and diagnosis of ATL
 - * TTT of ATL
 - * HTLV-I related diseases
- 6) Introduction to Molecular Biology (3 L)
- 7) Introduction to Medical Statistics (1 L)
- 8) Quality control programs in Medical Laboratory (3 L)
- 9) Economics of making a diagnosis (1 L)

II. PRACTICES : ((12 P))

1. Immunological techniques. (8 P)
2. Lab. diagnosis of HCV (2 P)
3. Lab. diagnosis of HBV (2 P)
4. Lab. diagnosis of AIDS & ATL (2 P)
5. PCR-RNA , HBV-DNA (2 P)
6. Immuno-staining. (2 P)

III. FIELD-TRIPS : ((25 F))

These field studies aim to acquaint participants with the organizational structure of different types of diagnostic and research laboratories, and to help them to identify the administrative problems associated with each of the laboratory structure and function. Visits will be guided by experts in the field of management of health and research organizations, and will be ended with a one day workshop addressing the managerial aspects of running a laboratory.

- 1- The Communicable Diseases Research & Training Center (CDRTC), Suez, FOM/SCU.
- 2- Clinical Epidemiology Unit, Ismailia, FOM/SCU.
- 3- Cancer Institute, Cairo.
- 4- Ain Shams Specialized hospital, Cairo.
- 5- Cairo University Pediatric Hospital.
- 6- National Chemo-sero vaccination Institute, Cairo.
- 7- Egyptian Red crescent, Cairo.
- 8- Primary health centers of FOM/SCU, Suez Canal area.
- 9- Alexandria Research Institute, Alexandria.
- 10-Roda Educational Technology Center.

IV. GROUP STUDY : ((16 G))

- 1- Journal Club (6 articles in molecular biology and immunology of infectious diseases)
- 2- Problem solving & group study (10 G)

Ten written problems will be delivered to participants (each in a separate session) for brain storming. subsequently, small group discussions will be held to highlight the topics addressed each problem. The problems will be formulated so as to consolidate knowledge obtained through lectures.

V. PRESENTATION OF REPORT : ((8 R))

- Each participant (s) from the invited countries will present a comprehensive report on the activities he is currently taking at home emphasizing the means through which the course may help in improving conditions of his (her) activities.

VI. WORK SHOP ON RESEARCH METHODOLOGY : ((8))

This intensive 4-full days workshop will help participants grasping essentials for development of a research protocol. The following topics will be emphasized in the workshop: Research design, Sources of bias in medical research, Measurements & types of error, Inter-observer & Intra-observer disagreement, Data management, How to use a simple computer package for statistical analysis of data.

VII. RECREATIONAL ACTIVITIES & TOURISM :

Through the duration of the course arrangements will be made for schedule recreational activities and for visits to Pyramids and Sphinx, the Egyptian museum, The great mosques in Cairo, and to Port-Said...

* THE ABOVE CURRICULUM MAY BE SUBJECTED TO CHANGES, ACCORDING TO THE FINAL AGREEMENT BETWEEN THE SPONSORING BODIES.

6) INVITED COUNTRIES:

The governments of the following countries will be invited to nominate their applicant(s) for the course. Angola, Malawi, Botswana, Mozambique, Cote d'Ivoire, Djibouti, Ethiopia, Gabon, Gambia, Ghana, Kenya, Madagascar, Mauritania, Morocco, Nigeria, Senegal, Sierra Leone, Tanzania, Tunisia, Ugandan, Zimbabwe, and Non English speaking countries (e.g. Zaire, Cote d'Ivoire, Singal) and the following countries can be allowed to join: Jordan, Saudi Arabia, Yemen, Oman, U.A.E., Kuwait, Syria, Bahrain, Qatar, Lebanon, will be in the second priority list. English-speaking candidates from these countries will be only invited to participate if vacancies exists !

7) NUMBER OF PARTICIPANTS:

The number of participants from the invited countries will not exceed fifteen (15). In the case that the number of elected participants is short of that, the vacant places will be filled by

participants from the inventory of the african arab countries. In addition the number of participants from the Arab Republic of Egypt will not exceed five (5).

8) QUALIFICATION FOR APPLICANTS:

The course is designed for bench work researchers, to upgrade their practice and research capabilities, including research design. The applicants are ideally expected to be:

- 8-1 Nominated by their respective Governments in accordance with the procedure mentioned 10-1 below.
- 8-2 To be a bench work researcher involved in training or supervision of bench work staff,
- 8-3 Working in a research institute,
- 8-4 In a mid-career leader position,
- 8-5 Have some practical experience on one or more of the relevant subjects of the course,
- 8-6 Forty five (45) years of age or less,
- 8-7 Have a good command of spoken and written English,
- 8-8 To be a citizen of the nominating countries, and
- 8-9 To be in good health, both physically and mentally, to complete the course.

9) FACILITIES AND INSTITUTIONS:

The FOM/SCU was established in 1978 as innovative school adopting a problem based, Community oriented, and Community based program. The educational, service and research activities of the school are being implemented at the public health facilities and the communities of 5 of the 24 Governorate of Egypt. The school is a collaborating Center with WHO in health manpower developments.

The main core of the course will take place at Ismailia University Hospital, Ismailia-Egypt. The University Hospital is a new one, established at early 1994. The Hospital has 350 beds and provides comprehensive services in out-patient and in-patient department.

The Communicable Diseases Research & Training Center, CDRTC, Suez-Egypt, was established in 1988 as a specialized center of FOM/SCU. The Objectives of the center reflect the institutional goals of the school and it's emphasis on communicable diseases as one of the priority health problems. The center is located within the premises of the Infectious Diseases Hospital (100 beds) of Suez City, 135 km from Cairo, 85 km from the campus in Ismailia. The Center is also linked to 4 primary care centers belonging to FOM/SCU. The Center itself has a general outpatient clinic, and a dermatology/STD clinic. The Laboratories of the center are equipped to meet the needs of appropriate health service and basic research

Clinical Epidemiology Unit, is a member of the

International Clinical Epidemiology Network (INCLIN) and has in hand 12 staff members with wide experience in teaching research methods and biostatistics. It is located in the campus and provides several versatile formats of workshops in the field.

**** CENTERS & INSTITUTIONS EXPECTED TO BE COLLABORATED IN THE COURSE:**

The following Institutions have expressed their interest in providing expertise for limited periods of time to fostering training in the highly specialized areas.

1. Kumamoto National Hospital, Clinical Research Institute of Kumamoto, and Kumamoto University Medical School, Japan.
3. Division of Immunology & Allergy, University Hospital, Lausanne, Switzerland.
4. The Program on Bacteriology, Viral Diseases and Immunology, The WHO Immunology Research and Training Center, Lausanne/Geneva, Switzerland. The World Health Organization.
5. Royal Tropical Institute, Netherlands.
6. Department of Pathology and Laboratory Services, Medical Center, the University of Kansas, U.S.A.

10) PROCEDURE OF APPLICATION:

10-1 The Government invited to nominate applicants for the Course shall forward five (5) copies of the prescribe application form for each nominee to the Government of Arab Republic of Egypt through diplomatic channels not later than sixty (60) days before the commencement of the course.

10-2 the Government of the Arab Republic of Egypt will inform the nominating Government through diplomatic channels whether or not the applicant (s) is/are accepted to the Course not later than thirty (30) days before the commencement of the Course.

11) UNDERTAKINGS OF GOVERNMENT OF JAPAN AND GOVERNMENT OF THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT & FOM/SCU:

In organizing, implementing and evaluating the Course, the Government of Japan and of the Arab Republic of Egypt, represented by the FOM/SCU will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country.

11.1 The Government of the Arab Republic of Egypt

11.1.1 Ministry of Foreign Affairs (Egyptian Technical Cooperation Fund for Africa-ETCFFA).

(1) to forward the General Information brochures (G.I.) to the Governments of the invited countries through diplomatic channels,

- (2) to receive application forms and forward them to the FOM/SCU, and
- (3) To notify the result of the selection to the respective Government through diplomatic channels.
- (4) To represent the Egyptian-official partner in the opening & closing ceremonies.
- (5) To cover with agreement with Suez Canal University some or all the expenses of:
 - a-Travelling, accommodation, and/or training of the 5 Egyptian participants.
 - b-Secretarial work.
 - c-Honoraria to Prof. of Suez Canal University.
 - d-Recreational activities and tourism.

11-1-2 Faculty of Medicine-Suez Canal University

- (1) to formulate the curriculum of the course.
- (2) to draft and print the G.I.,
- (3) to assign an adequate number of its staff as lectures/instructors and administrative staff for conduct of the Course.
- (4) to provide its training facilities and equipment for the Course,
- (5) to select participants for the course, and to inform the Ministry of Foreign Affairs and the office of JICA in Egypt with the names of the elected candidates.
- (6) to arrange accommodations for participants.
- (7) to arrange international air tickets for participants and to meet and see them off at the airport,
- (8) to arrange domestic study tour(s) to be included in the Course,
- (9) to take budgetary measures to bear the expenses borne by JICA and ETCFFA.
- (10) To issue certificates to the participants who have successfully completed the Course,
- (11) to forward a course report and a statement of expenditures to the JICA office within thirty (30) days of the termination of the course, and
- (12) to arrange the recreational and tourism activities in collaboration with the ETCFFA.
- (13) to coordinate and monitor all activities of the course during its duration.

11-2 The Government of Japan

- (1) to dispatch short-term expert(s), following the procedures of its technical cooperation scheme, who will give advice to the FOM/SCU and deliver lectures on such subjects.
- (2) to bear the following expenses through JICA.
 - (a) Such expenses relevant to non-Egyptian participants from the invited countries as international economy-class flight fare

accommodation, per-diem and medical insurance premiums,

(b) Such expenses relevant to the FOM/SCU as honoraria for external lectures, arrangement of meeting(s) and study tour(s), teaching aids, expendable supplies, copies and re-print and secretarial services.

12. PROCEDURE OF REMITTANCE AND EXPENDITURE:

Remittance of the funds for the expenses to be borne by JICA and expenditure therefor will be arranged in accordance with following procedure:

12-1 The FOM/SCU will open a bank account in the Arab Republic of Egypt to receive the funds remitted by JICA, and inform the JICA Office of the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.

12-2 The FOM/SCU will submit to the JICA Office a bill of estimate for the expenses to be borne by JICA not later than six (6) months before the commencement of the course.

12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount to the account referred to 12-1 above within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.

12-4 The FOM/SCU will submit to the JICA Office a statement of expenditures within thirty (30) days after the termination of the Course.

12-5 In case there is any unspent remainder of the amount remitted by JICA, FOM/SCU will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the instructions given by JICA. The funds allocated for the flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.

12-6 By the request of JICA, the FOM/SCU will make available for JICA's reference all receipts and other documentary evidence necessary to certify the expenditures stated in 12-4 above.

JICA